

2023年6月30日

各位

会社名 株式会社アマナ
代表者 代表取締役社長 進藤 博信
(コード番号 2402 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 伊賀 智洋
(TEL. 03-3740-4011)

オフィスの閉鎖並びに特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、オフィスの閉鎖を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、本件に伴い、特別利益及び特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 閉鎖するオフィスの概要

(1) 名 称	PORT
(2) 所 在 地	東京都港区海岸三丁目 18 番 12 号
(3) 閉 鎖 予 定 日	2023年7月31日

2. 閉鎖の理由

当社グループは、2023年（当連結会計年度）において、「利益創出」と「内部統制強化」を基本方針に据えた経営計画に立ち返り、2022年（前連結会計年度）において整備を進めたワークフローをさらに発展させながら活用し、あらためて内部統制の強化にむけた継続的な取り組みを徹底するとともに、事業の黒字化を早期に実現するために、利益体質化にむけて収益と費用の両側面から施策を実行し、収益構造の改善を図ることで財務基盤の安定化に努めております。

収益構造の改善においては、受注獲得にむけた商談活動の増加を推進するために再編成した営業体制のもと、営業と制作が有機的に連携しながら、グループの総合力を発揮した売上高の再成長を目指し、同時に、受託案件毎における責任体制の明確化と利益設計の強化を図り、重要指標である1人あたり事業付加価値額（売上高－外注原価）の向上を推し進めております。また、非中核部門の見直しなど事業及び組織の最適化による人件費及び活動経費の抑制、オフィス等の一部のファシリティの解約あるいは転貸等による地代家賃等の設備費の抑制等、固定的な費用の大幅な削減施策を検討のうえ適時に実施しております。

このような方針・戦略のもと、ロケーション及びファシリティの最適化の一環として、上記の拠点・オフィスについて閉鎖することといたしました。

3. 今後の業績に与える影響

2023年12月期においてオフィスの閉鎖に伴い今後廃棄する予定の固定資産について、連結決算にて31百万円の減損損失を特別損失に計上する一方で、売却が見込める固定資産については売却を行うことにより、連結決算にて70百万円、個別決算にて101百万円の固定資産売却益を特別利益に計上する予定であります。

また、オフィス閉鎖に伴い、販売費及び一般管理費等に含まれている固定費の月次減少額とし

て 25 百万円（概算）を見込んでおります。

なお、固定費の月次減少額については、2023 年 12 月期の通期連結業績予想に織り込み済みですが、その他の影響額については、他の要因を含めて精査中であり、業績予想の修正が必要とされる場合には速やかに公表いたします。

以 上